

2020/9 Vol.20

水戸赤十字病院広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表) <http://www.mito.jrc.or.jp>

ご自由にお持ちください **Take Free!**

虹 にじ

虹の由来/架け橋となるような広報誌を目指します。



水戸市より生花店を通して
お花が寄贈されました。
写真右:御園看護部長



人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



日本赤十字社 水戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

お礼～ご支援いただいた皆さま～

アメニティ施設工事開始のお知らせ

診療科紹介Vol.20
リハビリテーション科

寄り道コラム ～file12～
新型コロナウイルス感染防止対策～第2波を乗り越えるために～

地域医療連携課

地域医療支援病院運営委員会を開催しました
糖尿病内科の診療体制の変更について

お礼

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、県内外の企業や団体、個人の方々から、様々なご支援を多数いただいております。水戸赤十字病院が皆さまに支えられていることを実感するとともに、心よりお礼申し上げます。

心温まるご支援に感謝し、これからも皆さまに安心・安全な医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって努めてまいります。



《ご支援いただいた企業・団体様》五十音順

- 阿さ川製菓株式会社
- 一般社団法人 茨城県医師会
- 一般社団法人 MIJW-水戸発夢を叶えるプロジェクト
- 茨城県筑西市立中小学校
- 医療従事者に感謝を伝える基金プロジェクト
- 医療法人 維誠会
- 花王株式会社
- カジュアルイタリアン チョップ
- 株式会社 伊勢基本社
- 株式会社 伊藤園
- 株式会社 クリニコ
- 株式会社 Serge 源's
- 株式会社 ドミノ・ピザ ジャパン
- 株式会社 坂東太郎
- 株式会社 日立製作所 ヘルスケア水戸営業所
- 京セラ株式会社
- 公益社団法人 茨城県看護協会
- 公益社団法人 茨城県柔道整復師会
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- コロナ支援 みんなで助け合おう会
- JA 祭典水戸
- 崇教真光 茨城中道場
- 総合葬祭 ジャクセン
- 総合葬祭 富士祭典
- 第一生命保険株式会社 水戸支社
- ともべ幼稚園
- 日本コーヒー文化学会 茨城支部
- ネスレ日本株式会社
- 表示灯株式会社
- フマキラー株式会社
- 水戸長寿館

アメニティ施設工事開始のお知らせ

当院の正面玄関前(病院敷地内)に、病院を利用する患者さまや地域の皆さまにご利用いただけるアメニティ施設が建設されます。アメニティ施設には薬局、コンビニ、理容室等が入所予定で、令和3年4月の開店を目標に、令和2年8月から建設工事を開始しております。ご来院の皆さま、近隣の皆さま

にはご迷惑、ご不便をおかけして、大変申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



完成イメージ図



rehabilitation

リハビリテーション科

当院は第二次救急指定病院であり、主に急性期リハビリテーションを積極的に行っておりますが、一般病棟の他にも緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟も有しており、終末期のケアや在宅復帰への支援にはリハビリテーションが必要不可欠です。また茨城県では全県的に地域リハを普及促進するための体制整備を推進しており、当院もその一環として茨城県指定地域リハビリテーション広域支援センターおよび地域リハビリテーション・ステーションに指定されております。茨城県内においてもリハビリテーション関係職種や訪問リハビリテーション事業所は県南地域への偏在傾向が強く、県央地域のリハビリテーション中核施設として当院の果たす役割は重要であります。

現在、当院リハビリテーション科には医師1名、理学療法士11名、作業療法士8名、言語聴覚士2名が在籍し、運動器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、がん疾患、廃用症候群



第一リハビリテーション科 副部長
平島 淑子

の4疾患に対応しています。昨年度の1年間の総リハビリテーション患者数は1219名であり、そのなかでも70歳以上の占める割合は690名と過半数に達していました。

わが国の高齢化は急速に進行していますが、茨城県内においても65歳以上人口が総人口に占める割合は29.4%と全国平均の28.4%を上回り、県内70歳以上が占める割合は22.2%に及んでいます。当院でも利用者の過半数が介護保険利用対象者であり、退院後の維持期リハビリテーションは介護保険が優先されるため地域での通所・訪問リハビリテーションが主体となります。退院後のスムーズな地域リハビリテーションへの移行にあたり、登録医・地域医療機関の先生方には平素より大変お世話になっております。今後ともどうか宜しく願いいたします。

file.12

寄り道コラム

新型コロナウイルス感染防止対策 ～第2波を乗り越えるために～

感染管理認定看護師 高橋 洋子

例年ですと、夏は「食中毒に注意しましょう。」と呼びかけていましたが、今年は、新型コロナウイルス感染防止で、「手をこまめに洗いましょう」と呼びかけています。手洗いはどちらにも効果があるので積極的に行いましょう。

緊急事態宣言で、外出の自粛が求められ、新型コロナウイルス感染症の流行の第1波が、落ち着いたかのように見えたが、早くも第2波が流行しています。しかし、第1波でも第2波でも、感染防止対策は変わりません。「3密を避ける」「正しいマスクの着脱と咳エチケット」「正しい方法とタイミングで手指衛生」が基本となります。

外出先で不特定多数の人と接触することで、感染のリスクは高まります。不要不急の外出を控えることも重要ですが、必要な外出の後に「もしかして感染してしまったかも」と不安な時間を過ごすより、厚生労働省が公表している新しい生活様式を取り入れて「少し不便だけど、やってみよう」というチャレンジ期間と思っ



た方が楽しいかもしれません。一人ひとりの行動が、第2波を乗り切る最強の感染防止対策になるのではないのでしょうか。

買い物

- ・通販の利用
- ・電子決済の利用

移動・イベントなど

- ・接触確認アプリの活用

働き方の新しいスタイル

- ・テレワークやローテーション勤務
- ・オンライン会議



地 域 医 療 連 携 課

地域医療支援病院運営委員会を開催しました

令和2年9月2日(水)当院にて、第18回地域医療支援病院運営委員会を開催しました。

この委員会は、地域医療支援病院としての当院の運営に関して、水戸医療圏の行政・医師会の方々からご意見をいただき、幹部職員と意見交換する場として年2回開催しています。

委員会では、当院の紹介・救急の受入れ状況等を報告しました。また、現在流行しているコロナ関連が話題となり、委員の先生方から当院の対応に感謝、支援のご意見を多数いただきました。

委員の皆様より頂戴した貴重な意見を参考にし、今後も地域医療支援病院としての役割を果たしていきます。



糖尿病内科の診療体制の変更について

令和2年10月より、当院糖尿病内科常勤医師が退職のため、不在となります。今後の外来診療は非常勤医師1名体制で継続予定となっておりますが、急性疾患や入院治療等が必要な患者さまへの対応が困難になることから、地域の医療機関と連携し、他病院へご紹介させていただきます。地域の先生方及び患者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



紹介状持参のお願い



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

お持ちでない方は

選定療養費5,500円(税込)が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアいたします。ハイリスクでない方も、里帰り分娩の方も、当院でのお産を歓迎いたします。妊婦さんが初診の際には、選定療養費はかかりません。受診を希望する妊婦さんからの電話予約も可能ですので、産科へお問い合わせ下さい。

